

新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

【大会実施に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を断つ
- (2) 感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い等の徹底
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

【具体的な感染防止対策】

(1) 遵守する事項

①大会運営全般（事務局）

- ・競技会場における3つの「密」の回避をします。（個別会場対策参照）
- ・アルコール消毒液、石鹸の設置をします。（個別会場対策参照）
- ・定期的な換気をします。
- ・密を避けるために、更衣室、休憩・待機スペースにはゆとりをもたせます
ゆとりを持たせることが難しい場合は利用制限をします
- ・出入口が密にならないよう、混雑する時間帯には係員を配置し、監督します
- ・複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取っ手、テーブル、いす等）については、定期的に消毒をします
- ・飲食については、場所を指定し、周りの人との距離をとれるようにします
- ・会場内では新型コロナウイルス感染症対策について参加者に注意喚起します
- ・座席が密にならないように、間隔を空ける等の対策をとった上で、場所を指定します
- ・諸会議では実施時間の短縮をします
- ・マスク着用、大声抑止等の決まり事が徹底されなかったときの個別注意を行います。（会場内の定期的な巡回・確認）
- ・宿泊施設及び食事提供施設へのガイドラインの徹底依頼及び対策の確認をします
- ・感染を疑う者が発生した場合の個室の用意をします
- ・ゴミの捨て方について指示します
- ・提出された「健康チェック管理用紙」（様式2）の原本については、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、保存期間を一か月として保管します

②参加者

◆選手・監督・引率責任者

- ・来会前に参加生徒への新型コロナウイルス感染症対策についての事前指導（対策の理解、協力、実行）
- ・来会2週間前から大会参加終了時までの健康チェックシート（様式1-1・1-2）による健康状態の記録
- ・引率責任者は、来会前に健康チェックシート（様式1-1）の内容を毎日確認し、健康状態に問題がある場合は必ず医療機関を受診させ、場合によっては大会参加を見合わせる等の対応をする
- ・引率責任者は、大会期間中、毎日選手の健康チェックシート（様式1-2）の内容を確認する。その際、必ず健康チェック管理用紙（様式2）へ必要事項を記入し、大会終了時に原本を大会実施本部へ提出すること
- ・様式1-1、1-2については、保存期間（1ヵ月以上）を定め、各自保管しておく
- ・引率責任者は、参加生徒がマスクを準備・着用しているか確認する
- ・来会日より2週間前までの期間に、様式1-1のチェック項目により風邪等の症状がみられた場合は、参加を見合わせる。但し来会日より3日前までに風邪等の症状が消失した場合は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが低いことを示す「医師の診断書」を大会事務局へ提出することで出場を認める。

◆競技役員・大会役員・視察員・補助員

- ・来会 2 週間前から大会参加終了時までの健康チェックシート（様式 1-1・1-2）による健康状態の記録
- ・来会前に健康チェックシート（様式 1-1）の内容を確認し、健康状態に問題がある（例：発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、味覚臭覚の異常など）場合は大会参加を見合わせる等の対応をする
- ・様式1-1、1-2については、保存期間（1ヵ月以上）を定め、各自保管しておく
- ・来県前に体調不良（例：発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、味覚臭覚の異常など）が出現した場合、かかりつけ医を必ず受診し、参加是非についての判断を仰ぐ

◆共通する事項

- ・発熱など感染の疑いがある場合は参加を見合わせる等の対応を取る
- ・来会前及び大会期間中の毎日の検温
- ・身体的距離の確保（感染予防の観点から、少なくとも 2 m）
- ・マスクの持参及び着用（練習及び競技中の着用は参加者の判断による）特に会話するときには要着用
- ・3つの「密」に対する自らの回避（特にミーティング時は留意）
- ・手洗い、手指消毒、うがい、咳エチケット等の徹底・マイタオルの持参
- ・大声及び身体接触の抑止（ハイタッチ及び握手はしない、応援は拍手で）
- ・食事（昼食を含む）、宿舍及び輸送（移動）では各施設及び業者のガイドラインを厳守する
- ・必要物品は各自で持参：体温計、マスク（1日1枚）、ハンカチ（1日1枚）、ビニル袋、入浴用品、ブラシ等
- ・接触確認アプリ（COCOA）のインストール及び活用
- ・ゴミの持ち帰り
特に体液のついたものは、ビニル袋に入れ、口を綴じて指定された場所に捨てること
- ・唾や痰をはかない

(2) 場面ごとの留意点

①移動・輸送

- ・マスクの着用を徹底し、車内では会話を控える
- ・可能な範囲で座席間隔をあけ、定期的な車内の換気を行う
- ・首都圏を経由する、公共交通機関の利用は極力控える

②宿泊・食事・入浴

<宿泊>

- ・体調不良（熱、咳、咽頭痛、倦怠感など）の場合は直ちに引率責任者等へ申し出るようにし、居室に留まり、他者との接触をしない
- ・食事、入浴、就寝以外はマスク着用
- ・部屋割りで指定された自分の部屋で過ごすようにし、他の部屋への行き来は行わない
- ・身体的距離の確保を常に意識する（感染予防の観点からは、少なくとも 2 m）
- ・こまめな手洗い、手指消毒の実施に努めること

<食事>

- ・可能な限り時間差で食事をとる
- ・飲食開始直前までマスクの着用
- ・席の間隔を空け、可能な限り横並びとする
- ・会話を控える（会話をする際はマスク着用）

<入浴>

- ・可能な限り時間差で入浴をする
- ・物品の共用を避ける
- ・会話を控える（特に対面での会話はしない）
- ・身体的距離の確保及び、定期的な換気を行う

<その他>

- ・その他、宿泊施設での遵守事項については、戸狩観光協会等で定めたガイドラインの内容に従うこと

③大会終了後

- ・帰宅後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性確認があった場合は、実行委員会へ連絡をする